

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		福祉プラザ台東清峰会運営協議会				所管	福祉部 高齢福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	福祉プラザ台東清峰会運営協議会設置要綱				
	事業対象	福祉プラザ台東清峰会							
	事業目的	区有財産の活用に際して、民間法人を誘致し、福祉プラザ台東清峰会を整備したことから、整備後も円滑に施設の運営を図るために協議会を設置する。							
	事業内容	福祉プラザ台東清峰会を円滑に運営するため、区民や学識経験者を含めた協議会を開催する。 協議会では、施設の整備・運営、地域住民との調整などに関する事項を協議する。 福祉プラザ台東清峰会が運営する施設：特別養護老人ホーム、知的障害者更生施設、子育て支援施設等							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	運営協議会回数 回		1	1	1	1		
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)				111	111	116		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			2,700	2,083	1,023		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			13	6	11		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			98	106	106		
		総経費			2,811	2,195	1,140		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			2,811	2,195	1,140				
前年度から改善した事項		前年度に指摘されたショートステイの利用方法等の課題について、改善に向けた取り組みが行われた。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	地域に根差した施設であるため、地域住民の代表者を含めた関係者が集まり、施設の運営状況や課題等を話し合う場として必要である。						
	効率性	3	高齢者施設、障害者施設、子育て支援施設の運営状況等も一括して話し合うため、効率的である。						
	手段の適切性	3	施設の運営状況や課題等を話し合う場として、年1回の開催が適切である。						
	目的達成度	2	25年度より年1回の開催とした。協議会で挙げられた意見・要望を今後の事業展開の参考としており、一定の効果を上げている。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
福祉プラザ台東清峰会の円滑な運営を図るため、関係者が一同に会する協議会は必要である。また、今後もより良い施設運営を目指し、協議会を継続していく必要がある。							維持		